

(独) 国立高等専門学校機構 情報セキュリティ人材育成事業

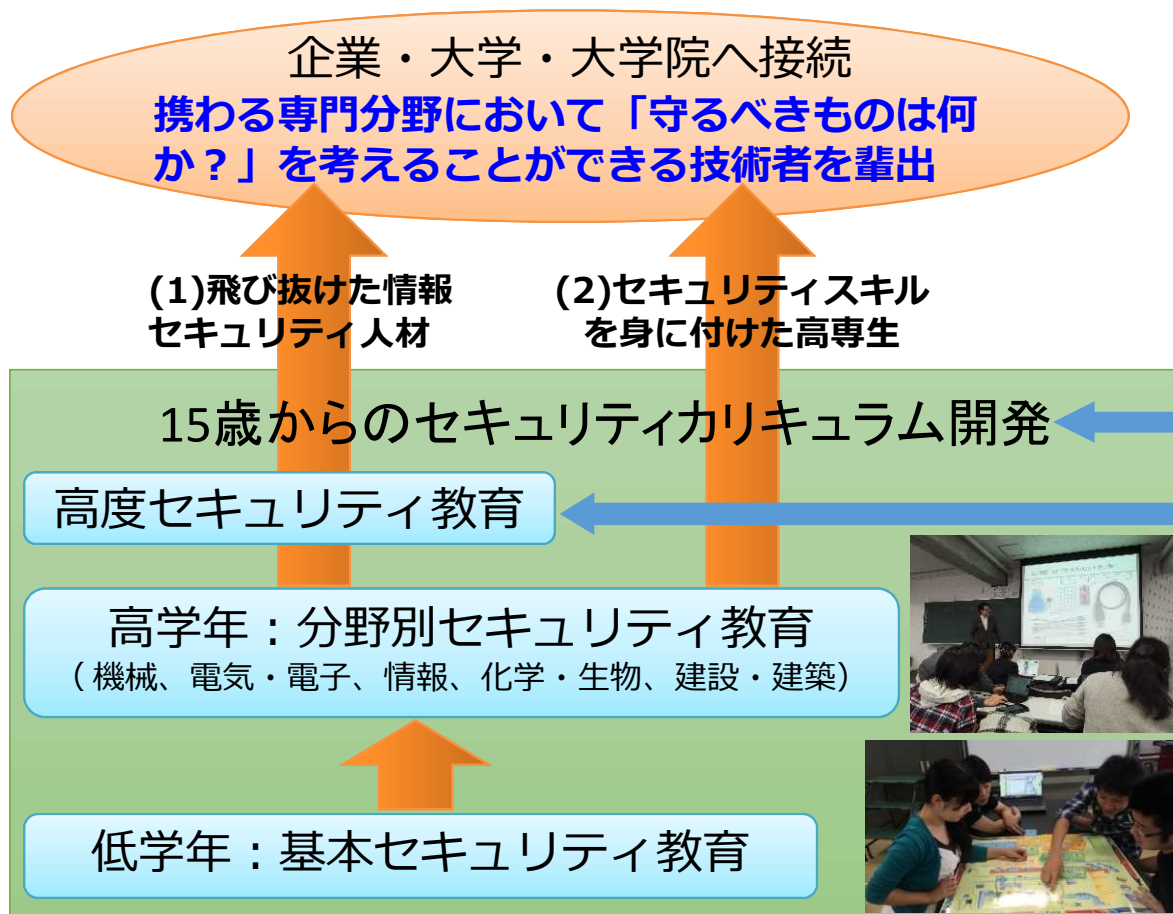


情報セキュリティ人材育成事業

セキュリティスキルを持った実践的な人材を、早期教育で継続的に輩出する仕組みづくり

(a) 飛び抜けた情報セキュリティ人材

(b) セキュリティスキルを身につけた高専生（全専門学科で）



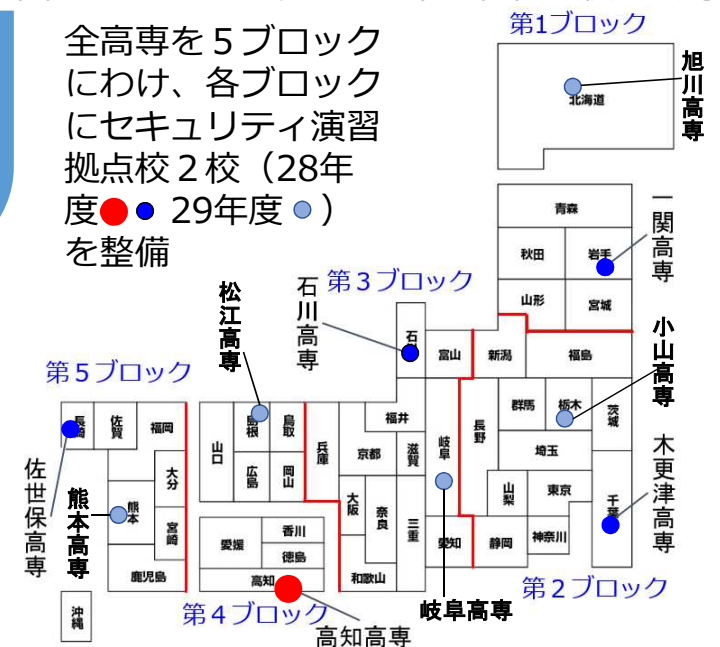
連携機関および推進体制

公的機関：IPA、NICT、警察庁等

民間：セキュリティ・ICT企業、非ICT企業、

経団連サイバーセキュリティ人材育成検討会等

全高専を5ブロックにわけ、各ブロックにセキュリティ演習拠点校2校（28年度●● 29年度●）を整備



情報セキュリティ人材育成事業

○各省庁の人材育成施策の連携策

連携先	内容	効果・課題等
NICT	<ul style="list-style-type: none"> 高度セキュリティ講習会（CTF、ミニハードニング等）を実施（石川高専で近畿東海地区の高専生に対して実施したアイデアソンへ講師派遣） CYDER（高専教職員向け）を石川高専で実施予定 SecHack365事業に参加決定者47名中、高専生が10名参加中 	<p><効果・参加者の声等></p> <ul style="list-style-type: none"> 高度セキュリティ講習会において、セキュリティを考慮したアプリ作りの意識向上に寄与 <p><課題等></p> <ul style="list-style-type: none"> CYDER実施に向けての手続き、高専内での継続的な教育実践が課題 学生へのSecHack365事業の参加案内（受講レベル等）が課題
IPA	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ・キャンプ全国大会（2名）、およびセキュリティ・ミニキャンプに高専生が参加 セキュリティ・ジュニアキャンプ in 高知（チューターとして高専生が企画）を高知高専で実施 	<p><参加者の声等></p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ・ジュニアキャンプ in 高知において、理解度、満足度共に高評価、参加後、全国大会に出場したいと回答した生徒が4割。さらに、高専生がチューターとなり、事前準備から当日の指導を通じて関わることにより、セキュリティの学びに繋がっている。 <p><課題等></p> <ul style="list-style-type: none"> 学生へのセキュリティ・ミニキャンプへの参加案内（場所の問題等）が課題 セキュリティ・ジュニアキャンプ in 高知の実施運営等の工数が多少負荷 <p>〔 小中学校は情報セキュリティの重要性を理解しているが、生徒に具体的に情報提供等ができていない傾向 〕</p>

情報セキュリティ人材育成事業

○その他の連携策

連携先	内容	効果・課題等
enPiT2 (学部学生向け)	<ul style="list-style-type: none">enPiT1 (大学院生向け) で、仙台高専と石川高専の専攻科生が受講実績あり。enPiT2で、仙台高専では基礎科目 (4単位) →学内の開設単位、専門科目 (2単位) →遠隔講義、演習科目 (1単位) →集中講義形式を修得して、「Basic SecCup7」として修了できるように制度設計)現在enPiT2と高専における情報セキュリティ人材育成事業双方の授業等の視察や意見交換を実施中enPiT2の外部評価委員の委嘱ならびに高専連携WGの参画	<p><効果・参加者の声等></p> <ul style="list-style-type: none">enPiTの修了証とは別に、演習科目の実習内容および個別評価を詳細に記載したCertificateの発行により、就職活動等において学生、企業側共に好評 <p><課題等></p> <ul style="list-style-type: none">遠隔講義の時間帯と演習 (集中講義) の実施日程の調整教育レベル・カリキュラムの擦合せ
警察庁	<ul style="list-style-type: none">警察庁によるフォレンジック、ログ解析、セキュリティインシデントのデモと解説等の出前授業の実施 (28年度: 木更津高専、高知高専、沖縄高専、29年度: 苫小牧高専、小山高専)	<p><効果・参加者の声等></p> <ul style="list-style-type: none">実務の話を含む座学・実習共にアンケート結果は概ね高い評価で、少々難しいテーマであってもモチベーションアップには非常に効果的、また、情報セキュリティへの興味が高まっている。 <p><課題等></p> <ul style="list-style-type: none">受講する学生のレベル調整および日程調整技術教育と倫理教育の組み合わせが不可欠